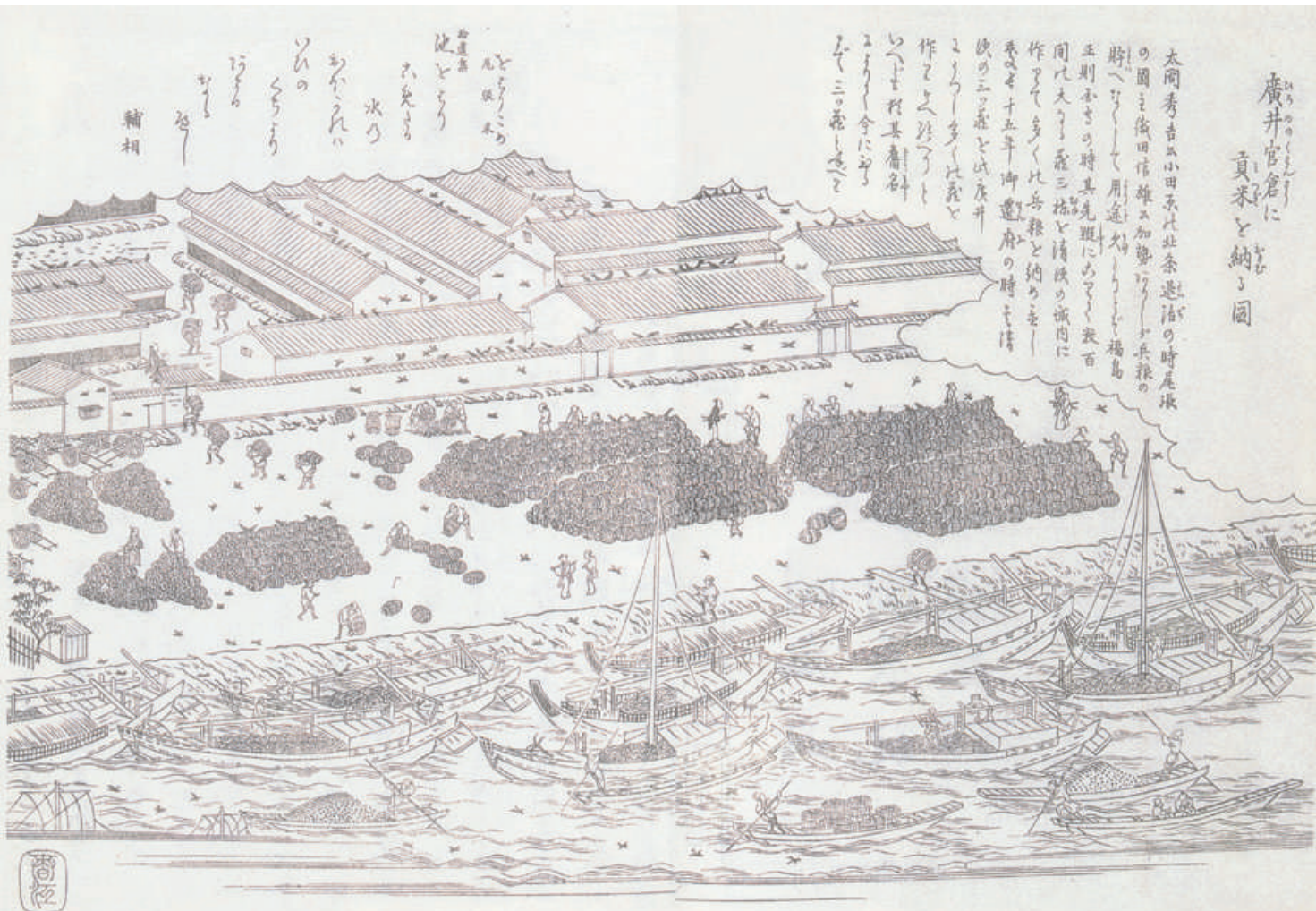


# 第138期 中間報告書

＜平成28年4月1日～平成28年9月30日＞



# 「もの」づくり、人の「暮らし」を支える

# 東陽倉庫

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ここに当社グループ第138期中間期（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）の中間報告書をお届けいたします。



代表取締役会長 白石 好孝



代表取締役社長 武藤 正春

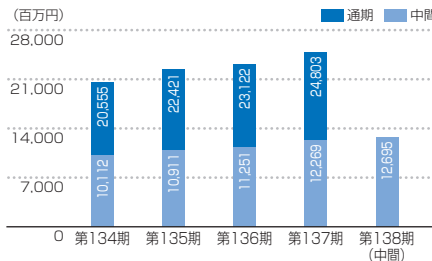
当第2四半期連結累計期間における日本経済は、輸出や生産が緩やかに増加し、設備投資も引き続き増加傾向にありました。個人消費は、労働需給が引き締まり雇用・所得環境が着実に改善しているものの、一部に弱めの動きがみられました。

物流業界の貨物取扱量は、国内貨物は、年初より取扱量が前年と比べ、飲料、食料工業品など増加傾向にあったものの、電気機械などが減少傾向にあり、軟調に推移いたしました。輸出貨物は、完成自動車や産業機械が減少いたしました。一方、輸入貨物は、LNGや鉄鉱石等が減少いたしました。在庫量は期間を通じて前年と比べほぼ横這いで推移いたしました。

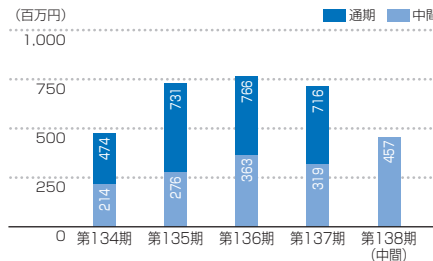
## FINANCIAL HIGHLIGHTS

連結財務ハイライト

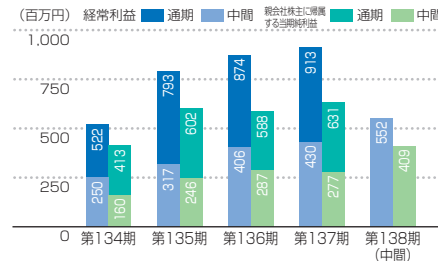
### 営業収益



### 営業利益



### 経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益



このような事業環境の下、当社グループは、「もの」づくりと人の「暮らし」を支える「総合物流企業として、社会と人々の生活に役立つという理念の下、より一層の営業力の強化と業務品質の向上を図るとともに、経営の効率化を推進し経費の節減に努めてまいりました。

国内物流事業においては、前期開設したみよし営業所、橋本営業所が巡航速度に入り、期初から業績に寄与いたしました。また、3PL物流および流通加工の取扱いが堅調に推移、さらに、書類保管業務において新規顧客の獲得に努めてまいりました。倉庫貨物取扱高は98万4千トン（前年同期比11.4%増）、倉庫貨物期中平均月末残高は9万3千トン（前年同期比6.3%増）、陸上運送取扱高は50万9千トン（前年同期比7.5%増）となりました。営業収益は76億6千3百万円となり、前年同期比4億2千万円（5.8%）の増収となりました。

国際物流事業においては、輸出入貨物の取扱いが低調に推移し、港湾貨物取扱高は86万1千トン（前年同期比7.3%減）、倉庫貨物期中平均月末残高は9万9千トン（前年同期比4.6%減）、陸上運送取扱高は56

万トン（前年同期比2.5%減）となりました。一方、前期開設した潮凧営業所が期初から業績に寄与いたしました。更に、事業の効率化をより一層推進いたしました。営業収益は48億8千7百万円となり、前年同期比1千8百万円（0.4%）の増収となりました。

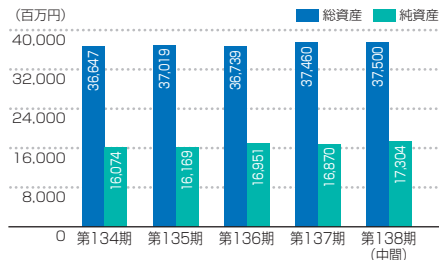
不動産事業においては、請負工事の受注減少により、営業収益は1億4千4百万円となり、前年同期比1千2百万円（△8.2%）の減収となりました。

この結果、連結営業収益は126億9千5百万円（前年同期比3.5%増）となりました。連結経常利益は、5億5千2百万円となり、前年同期比1億2千2百万円（28.4%）の増益となりました。特別損益等を加減いたしました結果、親会社株主に帰属する中間純利益は4億9百万円となり、前年同期比1億3千1百万円（47.2%）の増益となりました。

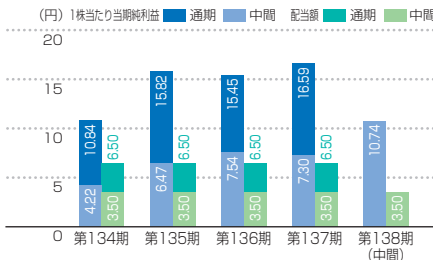
株主の皆様におかれましては、なにとぞ引き続き格別のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年12月

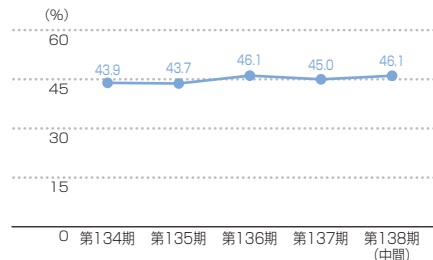
### 総資産・純資産



### 1株当たり当期純利益・配当額



### 自己資本比率



(注) 会計方針の変更により、第137期以前の総資産および自己資本比率を遡及修正しております。

## 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	前期	当中間期
	[平成28年 3月31日現在]	[平成28年 9月30日現在]
<b>資産の部</b>		
流動資産	7,498,415	7,916,664
固定資産	29,962,388	29,583,731
(有形固定資産)	20,805,896	20,465,442
(無形固定資産)	235,526	201,281
(投資その他の資産)	8,920,965	8,917,007
<b>資産合計</b>	<b>37,460,804</b>	<b>37,500,395</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	7,415,979	7,458,088
固定負債	13,174,765	12,737,346
<b>負債合計</b>	<b>20,590,744</b>	<b>20,195,434</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	16,692,596	16,995,867
資本金	3,412,524	3,412,524
資本剰余金	2,178,906	2,178,906
利益剰余金	11,393,853	11,697,335
自己株式	△292,688	△292,899
その他の包括利益累計額	177,462	309,093
その他有価証券評価差額金	622,110	706,544
退職給付に係る調整累計額	△444,647	△397,450
<b>純資産合計</b>	<b>16,870,059</b>	<b>17,304,960</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>37,460,804</b>	<b>37,500,395</b>

**資産の部** 主に受取手形及び営業未収入金などの増加により、資産合計は前連結会計年度末と比べ3千9百万円増加しました。

**負債の部** 主に借入金の減少などにより、負債合計は前連結会計年度末と比べ3億9千5百万円減少しました。

当中間期における現金及び現金同等物の残高は16億9千1百万円となり、前中間期より4千7百万円の減少となりました。

**営業活動によるキャッシュ・フロー** 前中間期と比べ収入が7千9百万円増加し、9億2千7百万円の収入となりました。

**投資活動によるキャッシュ・フロー** 主に有形固定資産の取得による支出の減少などにより、前中間期と比べ支出が2億6千9百万円減少し、3億3千2百万円の支出となりました。

**財務活動によるキャッシュ・フロー** 主に短期借入れによる収入の減少などにより、5億1千3百万円の支出（前中間期は1億5千8百万円の収入）となりました。

(注) 会計方針の変更により、当連結会計期間から金融資産および金融負債の相殺表示を行っております。それに伴い、前連結会計年度末の流動資産および流動負債を遡及修正しております。

## 中間連結損益計算書

(単位:千円)

科目	前中間期	当中間期
	[自平成27年4月1日 至平成27年9月30日]	[自平成28年4月1日 至平成28年9月30日]
<b>営業収益</b>	<b>12,269,020</b>	<b>12,695,596</b>
営業原価	11,502,543	11,821,989
<b>営業総利益</b>	<b>766,477</b>	<b>873,606</b>
販売費及び一般管理費	446,768	416,423
<b>営業利益</b>	<b>319,709</b>	<b>457,183</b>
営業外収益	179,411	150,628
営業外費用	69,027	55,679
<b>経常利益</b>	<b>430,093</b>	<b>552,132</b>
特別利益	19,981	3,737
特別損失	18,724	2,464
<b>税金等調整前中間純利益</b>	<b>431,350</b>	<b>553,405</b>
法人税、住民税及び事業税	133,889	180,343
法人税等調整額	19,629	△35,971
<b>中間純利益</b>	<b>277,831</b>	<b>409,033</b>
<b>親会社株主に帰属する中間純利益</b>	<b>277,831</b>	<b>409,033</b>

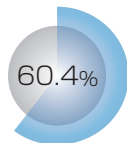
## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

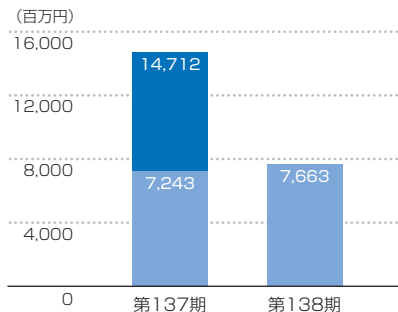
科目	前中間期	当中間期
	[自平成27年4月1日 至平成27年9月30日]	[自平成28年4月1日 至平成28年9月30日]
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>848,429</b>	<b>927,952</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△601,281</b>	<b>△332,045</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>158,865</b>	<b>△513,545</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,768	△114
現金及び現金同等物の増減額	407,783	82,246
現金及び現金同等物の期首残高	1,331,081	1,609,245
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,738,864	1,691,492

(注) 会計方針の変更により、当連結会計期間から金融資産および金融負債の相殺表示を行っております。それに伴い、前連結会計年度末の流動資産および流動負債を遡及修正しております。

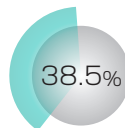
## 国内物流事業



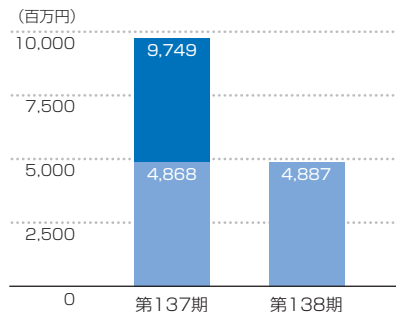
■ 営業収益 (通期)  
■ 営業収益 (中間期)



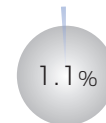
## 国際物流事業



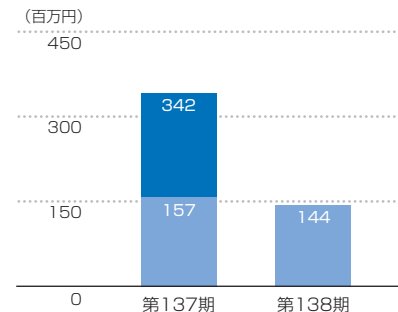
■ 営業収益 (通期)  
■ 営業収益 (中間期)



## 不動産事業



■ 営業収益 (通期)  
■ 営業収益 (中間期)



## STOCK INFORMATION

株式の状況

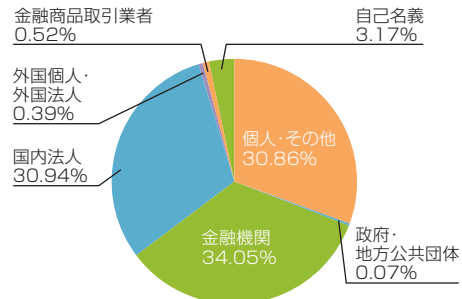
### 株式の状況

発行可能株式総数 100,000,000株

発行済株式の総数 39,324,953株

株主数 3,778名

### 所有者別持株状況



### 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
ダイセー倉庫運輸株式会社	1,800	4.58
株式会社 中京銀行	1,432	3.64
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,270	3.23
東陽倉庫株式会社	1,247	3.17
伏見興産株式会社	1,174	2.99
第一生命保険株式会社	1,172	2.98
三井住友海上火災保険株式会社	1,103	2.81
株式会社 愛知銀行	1,045	2.66
中京テレビ放送株式会社	1,000	2.54
明治安田生命保険相互会社	976	2.48

## 概要

商号：東陽倉庫株式会社（TOYO LOGISTICS CO.,LTD.）

所在地：名古屋市中村区名駅南二丁目6番17号

設立：大正15年3月13日

資本金：3,412百万円

事業：総合物流事業・不動産事業

当社は、次の認証等を取得しております。

プライバシーマーク

AEO（認定通関業者・特定保税承認者）

ISO14001（本社、国内営業本部〔小牧営業所、名古屋営業所（大口倉庫）、トランクルーム部〕、国際営業本部〔住化物流営業所〕、東京営業本部〔市川営業所、相模原営業所、宇都宮営業所〕）

OHSAS18001（本社、国内営業本部〔小牧営業所、名古屋営業所（大口倉庫）、トランクルーム部〕、東京営業本部〔市川営業所、相模原営業所、宇都宮営業所〕）

ISO9001（輸出海上貨物取扱）、ISO27001（トランクルーム部）

## グループ会社

国内	東陽物流株式会社
海外（※）	TOYO LOGISTICS AMERICA,INC.(米国)
	東誉（上海）国際貨運代理有限公司（中国）
	TOYO LOGISTICS(S) PTE.LTD.(シンガポール・ミャンマー)
	TOYO LOGISTICS (THAILAND) CO.,LTD. (タイ)
	TOYO SOKO (THAILAND) CO.,LTD. (タイ)
	TOYO AIG ECL LOGISTICS (MYANMAR) CO.,LTD. (ミャンマー)

※非連結子会社

## 株主メモ

事業年度：4月1日から翌年3月31日まで

剰余金の配当の基準日：期末配当 3月31日

中間配当 9月30日

定時株主総会：6月下旬

単元株式数：100株

公告の方法：当社ホームページ  
(<http://www.toyo-logistics.co.jp/>)  
に掲載いたします。

ただし、やむを得ない事由により上記  
において提供できないときは、日本経  
済新聞に掲載いたします。

## 役員

代表取締役会長：白石 好孝

代表取締役社長：武藤 正春

取締役（常務執行役員）：山岸 博之

取締役（執行役員）：伊木 善秀

取締役（執行役員）：青山 章

取締役（執行役員）：渡邊 誠

取締役：今井 和光

社外取締役：長田 博

社外取締役：市橋弘一郎

常勤監査役：森 真悟

社外監査役：近藤 克磨

社外監査役：入谷 正章

執行役員：若山 英二

執行役員：日高 公司

執行役員：山本 昭人

株主名簿管理人：東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先：〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL 0120-232-711（フリーダイヤル）

特別口座管理機関：東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

上場市場：東京証券取引所  
名古屋証券取引所（各市場第一部）